オーディオ資料室収載

iFI 製品 MQA 対応 Q&A

註：下記内容は、当方で起こった個別の案件に対する処理の経過であり、すべての案件に適用されるものではありません。また、当方の技術的な未熟さ、あるいは理解度の不足によるものも含まれている可能性があります。これらに対する回答は、ディーラー側の要請により記載していません。

第 1 回質問
【質問】
iFI 製品をいくつか使用しています。そのうち、micro iDSD BL で、MQA の再生を行うことを考えており、ファームウェアの更新を行うべく、貴社の指定サイトに入ろうとしましたが、サイトが見つかりませんというメッセージが出てきます。サイトの URL ならびに更新の手順をご教示ください。
　また、PC のソフトは Audirvana を予定していますが、他にも使えるものがありますでしょうか？なお、使用予定の PC は windows8.1 です。

第 2 回質問
【質問 1 】
micro iDSD BL は、TIDAL の Master Quality 音源の再生が出来るのでしょうか？
【質問 2】
そのためのファームウェアの更新は必要でしょうか？購入は発売直後でした。
【質問 3】
【質問 4 】
ファームウェアの更新と同時にドライバーの再インストールも必要でしょうか？

第 3 回質問
【質問】
迅速なるご回答ありがとうございました。
回答 2 に従い、Version を確認しますと、5.2 となっていました。試みに TIDAL の Master Quality の音源を再生しても、micro iDSD BL のランプは緑色で CD レベルの再生になっているようです。
そこで、ファームウェアの DL を回答 3 の内容に従い実施しました。

その次のインストールですが、最初の、回答 3 の「②．スタート画面の何もないところで右クリックし、[すべてのアプリ]をクリックします。」からして、どこをどうやってたどり着くかが分からず頓挫してしまいました。でたらめにやって故障するといけないので、本体を送ってファームウェアの更新をお願いしたいと存じます。つきましては、下記についてご連絡ください。
その他、回答 1 と回答 4 は了解しました。
① 送付先
② 送付ルート（直送または販売店経由）
③ 支払い条件（費用および振り込み先など）

第 4 回質問
【質問】
やはり危惧したとおり、うまく行かないどころか、故障してしまいました。Firmware upgrade が失敗したとのメッセージが出て、エラーNo.は 0xEE000003 と表示されました。その上、PC 側の SETTING で micro iDSD を認識しなくなりましたので、故障と思われますので、修理と Firmware upgrade をお願いします。手続きについてご教示ください。なお、本体のシリアル No.のラベルの印刷が、かすれて読めませんが、外箱のバーコードの下に 2012002304 という数字があります。購入は、日本橋のアサヒステレオセンターで、2017 年です。領収書は捨てていますので、購入時期などはそちらに聞いてください。
なお、同種のファームウェアの upgrade は、IO データ機器の fidata や、城下工業の SWD-DA20 でも実施の経験があり、これらの手順は分かりやすいものです。ちなみに友人の SWD-DA20 は、自分ではやらずに城下工業が無償でやってくれたそうです。本機のファームウェアの upgrade は手順が分かりにくく、ユーザーにとっては、非常にリスクの大きいものと思われますので、御一考の余地があると思われます。製品の機能が高いだけに、間違いを起こさない分かりやすい手順の開示や、アフターサービスの改善を要望します。

第 5 回質問
【質問】
では販売店経由で送らせていただきます。
「この度の挙動や表示内容」は既に先のメールで記載していますので不要かと存じますが、販売店には伝えます。
併せて、ユーザーが危惧を感じるような指示を強制すること自体、ビジネスマナーとしてあり得ないことだと愚考しております。

追加です。
Version の 5.3 と 5.3C とはどこがどう違うのですか？
MQA 対応で安定的に再生できるのはどちらですか？
音質上の差はありますか？

第 6 回質問
【質問】
その後、いったん以前使用していた micro iDSD を繋いで動作確認した後、再び micro iDSD BL に戻すと、認識は回復しました。この状態で、Master Quality 音源を再生すると、ランプの色は黄色になっています。ファームウェアの確認を行うと v.5.3 になっているようです。
依頼内容は次のとおりです。
１）TIDAL からの認識は回復したが、ファームウェアの再確認を依頼したい。修復が必要であれば実施していただきたい。
２）ファームウェアの更新が正しく実施されていない場合は、ファームウェアの v.5.3（v.5.3c でなく）への更新を希望する。当初は v.5.2 であった。
この時点でトップウイング代表殿にお会いする機会がありましたので、経過を説明し、確認もしくは必要な場合の処置をお引き受けいただきました。販売店にも同様の説明をしておきますので、よろしくお願いします。

第 7 回質問
【質問】
ご教示いただいたファームウェア更新手順は、販売店でも分かりにくいと言っていました。
もう一台の micro iDSD の方は、v.5.3c の方に update したいと思っておりますので、絶対間違いを起こさないような分かりやすい手順をご教示ください。
それでもリスクが残るとお考えならあらためて update を願いすることになります。

第 8 回質問
【質問】
ひき続き、やりとりしていますが、第 7 回のご回答を検証していただければ幸いです。
1)micro iDSD を v.5.3c の方に update したいという質問ですが、回答には、ファームウェアファイルの“iFi_XMOS_V5.30.bin”を選択とあります。本当にこれでいいのでしょうか？

2)質問には、「絶対に間違いを起こさないような分かりやすい手順」をご教示いただくようお願いしたのですが、「失敗する場合は、製品の接続のところからもう一度やり直して下さい。」とか、「アップデートは上記の手順で可能ですが、まれに何度やってもエラーが出て失敗することがあります。」とあります。やはり絶対に間違いを起こさないような分かりやすい手順は提示できないという理解でいいでしょうか？
3)この種の手順では、画面を表示し、ここのところをクリックするとか、何を入力するとかが指示されているのが通例です。このような手順の提示はできないということでしょうか。例えば、「“Browse…”ボタンをクリック」とありますが、具体的にどの画面のどのボタンかというようなことです。
もし、これ以上の詳細な手順をご提示いただけないなら、少し熱も冷めかけていることから、敢えてリスクを取らず、本件はあきらめようかと思い、レポートもそのような記述でクローズすることになります。